

BCAO 関西支部 平成 27 年 5 月度 第 102 回支部会議事録

日時： 平成 27 年 5 月 20 日（水） 18：00～18：40

場所： 住友電気工業(株) 大阪本社 403 号会議室（住友ビル 1 号館 4 階）

司会： 萩原 書記： 萩原

出席者： 11 名（順不同、敬称略）

鷺山、伊藤(高)、日下、徳永、野原、紅谷、田中、小友、櫻本、齊藤、萩原

議題：

①BCAO 理事会、総会報告

○2014 年度事業報告等

- ・ 演習講座の実施、経産省受託事業の実施、国連防災世界会議パブリックフォーラムにおける講演及び同会場での BCAO アワード開催で世界に向けての情報発信をした。
- ・ 東日本被災地視察と事業継続研修、普及拡大に向けた事業、特に法人向けプログラムの開発等に課題が残った。
- ・ 収支としては約 300 万円の赤字となった。
- ・ 賛成多数で可決された。

○2015 年度事業計画等

- ・ 設立 10 年の節目、様々な活動を振り返り、評価・課題整理・改善して BC の更なる発展に努めるというメッセージを発信する。
- ・ 10 周年記念事業の実施として年末～年始頃に 3 日間を予定している。関西でも 1 日開催を要望しているが、今後詳細は詰めていくとのこと。
- ・ 経産省受託事業に基づき、演習講座、事業継続演習指導者講座・試験の実施を行う。また BCAO として資格認定等を検討している。
- ・ 収支計画としては厳しい予算であるが、収支ぎりぎりにはしている。
- ・ 賛成多数で可決された。

○その他

- ・ 総会の前の意見交換会で、TC223 廃止、TC292 統合に伴い、BCAO としてレジリエンス研究会を発足し、レジリエンスに関する定義や考え方の明確化を目指すことを検討している説明があった。
- ・ BCAO としての共通コメントである標準テキストの改訂作業を現在行っている。

②大阪市中心公会堂利用問題について

- ・ 支部会合の会場として利用している大阪市中心公会堂の免震ゴム偽装発覚に伴い、このまま利用を継続していくかどうかについて、支部メンバー、運営委員から多数コメントをいただき、以下の公式見解とした。
- ・ 第三者や専門家の見解も含めまず問題ないと言う客観的情報を重視し、さらに推移を見守りながら団体として冷静に判断していく。今すぐには利用を控える必要はない。
- ・ なお、今日現在、国交省からは、施工業者の調査分析を踏まえ安全性に問題はない旨の見解が出ている。大阪市中心公会堂の今後の公式見解に注目して、判断していくことにする。

③その他

- ・ 12 月支部忘年会は 12 月 11 日(金)に変更する。(例年通り本部役員に参加していただく。)

次回会合の予定：

- ・ 日時 6 月 17 日（水） 18:00～20:30
- ・ 場所 大阪市中心公会堂 大会議室
- ・ 勉強会テーマ（予定）
「BCAO 関西会員のお悩み相談会」 参加者全員
- ・ 司会：紅谷氏、 支部会書記：田中氏